

# さくら苑の委員会を紹介します!!

## 環境整備委員会

環境整備委員会を中心として苑外のゴミ集めに思う

平成19年度の環境整備委員会の活動方針として、苑内の整備、花壇への草花植え、苑外の月1回のゴミ集めを企画しました。特に苑外活動が「苑外のゴミ集めを通して、地域とのふれあいになれば」と始めました。いつもは委員のメンバー2名でしたが、今日は5名の参加で行い、楽しくできました。5月8日(火)午後2時の少々暑いなか、大沢大桑線沿いを苑入口から大室ダム南口まで一輪車を引きながら、時折聞こえる小鳥のさえずりや新緑の爽々しさを感じながら「タバコの吸殻が多いね」「屋外と山は少ないね」「南口に近づくにつれてゴミが増えましたね」と言いながら、通りすがりの人たちから「運転手の公衆マナーが悪いね」「ゴミ拾い大変だね」と言葉をかけられました。一時間ほどで爽やかな気持ちで帰苑できました。

次回も多回同様メンバー以外の方の協力が得られれば、楽しく地域にもアピールできるのではと考えております。

(文筆 岩谷)

5月



## 褥瘡委員会

さくら苑の褥瘡対策委員会では、苑独自の褥瘡の処置の方法を考え褥瘡の改善、予防へと日々努力しています。最近では、「ラップ療法」というものを取り入れ、毎日施設を行っています。ラップ療法は、その名の通り、食品用のラップを使って創部を覆い人間の自然治癒力を任せ、一番良い肌環境を作つて時間をかけて褥瘡を治していく方法です。褥瘡の創部から出る浸出液は、傷を治癒する力を持っているといいます。それを排除してしまい、薬液を使って健康な皮膚までをもだめにしてしまう今までの褥瘡の治療の方法は、なかなか、褥瘡を治癒させることができなくありました。それが、ラップ療法に出会ってから、このような状態から脱することが出来たことを実感しています。もちろん、すべてがうまくいった訳ではありませんが、その都度その都度スタッフ間での話し合いを行い、良い方法を見つけています。

(文筆 甲斐)

4月



3月



さくら苑に来苑して  
下さった方々です。  
ありがとうございました。

## 編集後記

秋になりました。秋分の日をすぎて日が少しづつ短くなっています。秋の夜長の行事の中には、十五夜や十三夜の夜に、子供たちがわらで作った「わらでっぽう」をもって、家々をまわり、それを地面にたたきながら五穀豊穣を願う伝統風習が今も残っている地域があります。

しかし、子供の数が減ったり、「わらでっぽう」を作れるお年寄りが世代交代とともに少なくなっているそうで、重要な行事や風習がだんだんと消えていくかもしれません。我々は、お年寄りが持っている有形無形の財産にもっともっと目を向け、引き継いでいく努力を惜しまないようにしたいものです。

7月



ふるさと華語の会